

議会だより第41号

平成27年第4回定例議会

平成27年第4回定例議会が12月1日から18日までの18日間の会期で開催されました。
 この定例議会では、市長から提出された平成27年度いすみ市一般会計補正予算ほか7議案及び人権擁護委員候補者の推薦が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、同意されました。

主な議決内容

- いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、いすみ市いじめ防止対策推進条例の制定が全会一致で可決されました。
- 平成28年1月17日から2年間、特別職である市長、副市長及び教育長の給料を15%減額するいすみ市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正が賛成多数で可決されました。
- 平成28年3月31日をもって、いすみ市立第三保育所を閉所するいすみ市立保育所条例の一部改正が全会一致で可決されました。
- 人権擁護委員候補者に石橋雅幸氏を推薦することに全会一致で同意しました。

平成27年第4回定例議会議決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	いすみ市いじめ防止対策推進条例の制定について	可決
議案第2号	いすみ市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決
議案第3号	いすみ市税条例等の一部改正について	可決
議案第4号	いすみ市立保育所条例の一部改正について	可決
議案第5号	いすみ市介護保険条例の一部改正について	可決
議案第6号	平成27年度いすみ市一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第7号	平成27年度いすみ市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第8号	夷隅郡市広域市町村圏事務組合理約の一部改正について	可決
報告第1号	専決処分の報告について	報告
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について（石橋雅幸氏）	同意
発議第1号	議員の派遣について	可決

委員 会

審 査

報 告

12月10日と11日に、各常任委員会が開催され、委員会付託された議案を審査しました。ここでは、委員会で行われた主な質疑及び答弁について掲載いたします。

総務常任委員会

議案3件について審査を行いました。

議案第6号 平成27年度いすみ市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 総務費の地域住民生活等緊急支援助交付金事業（地方創生先行型）タイプIにおけるフィルムコミッション備品購入費について、購入

品目の内訳を伺いたい。

答 地域おこし協力隊のなかにテレビ制作に携わっていた者があり、映像や画像を専門的に編集できるパソコン及びカラープリンターなどを購入するものです。

文教厚生常任委員会

議案5件について審査を行いました。

議案第1号 いすみ市いじめ防止対策推進条例の制定について

問 第12条に規定されているいじめ問題対策連絡協議会の構成団体、人数等は定められているのか。

答 素案では、警察署、夷隅健康福祉センター、東上総児童相談所、民生・児童委員協議会、人権擁護委員会などの団体をもって、10人以内の委員で構成を検討しています。

産業建設常任委員会

議案1件について審査を行いました。

議案第6号 平成27年度いすみ市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 農林水産業費の地域住民生活等緊急支援助交付金事業のキヨン皮加工委託料について、委託内容はどうなのかなのか。

答 狩猟免許を持った地域おこし協力隊が有害鳥獣の駆除活動等を行っているなかで、キヨン皮を使ったセーム革が製品としてできないか、試験的に調査を兼ねて製作を委託するものです。



Q&A 一般質問 市政をきく

第4回定例議会の一般質問は、12月3日に6名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

（第4回定例議会の会議録は3月上旬に公開を予定しています。）

岩井豊重議員	平成28年度予算／地方創生／ごみ処理問題の今後
高森和久議員	骨髄移植ドナー支援事業の創設／平成28年度いすみ市一般会計当初予算編成方針／リース方式による公共施設へのLED照明の導入／全小・中学校へのリース方式によるエアコン設置
山口朋子議員	自殺対策／児童虐待防止対策／がん教育
荒井 正議員	市長の政治姿勢／貧困対策
久我 司議員	地域振興策／いすみ市ふるさと応援寄附金
田井秀明議員	小・中学生のスマートフォン等の利用／空家問題／胃がん検診



平成28年度予算
岩井豊重議員

答
身の丈にあった行政水準を保ちつつ、市民福祉の向上を目指す

岩井議員 予算編成全体についてどのような方向を目指すのか全体像を伺いたい。
市長 予算編成にあたっては、まず厳しい財政状況の中で市民の望む施策の実現を基本に、市民福祉の向上を目指して取り組んでいきたいと考えます。そのためには引き続き事業の見直し、補助金の見直しをはじめとする行財政改革を行い、それによって生み出した財源を事業の選択と集中、今やるべきことと将来に向けての地域づくりとしての地方創生戦略計画を中心に、福祉子育て支援に可能な限り予算配分をしていければと考えています。
しかし、課題はたくさんあり、教育施設の整備や先送りとなった広域ごみ処理施設整備のため、市としての基金の積立てが必要と考えるところかなり予算編成は厳しいものがあると考えます。いずれにしてもできる限

骨髄移植ドナー支援事業の創設
高森和久議員

答
動向を注視し、事業の検討をする

高森議員 ドナー登録者を増やすため、また、ドナー提供者の最終的骨髄の提供のためにも、休業補償支援事業等の創設をしてはどうか考えを伺いたい。
健康高齢者支援課長 骨髄バンクを介して骨髄等の提供を行う場合は、ドナー登録から提供までに通院や入院に要する日数は10日程度と言われていますが、休業補償がなくドナーの負担となっているのが現状です。
近年では、国や地方公共団体、企業、団体によっては職員・社員への社会貢献の支援を充実させることを目的に特別休暇や骨髄ドナー休暇が制度化されつつありますが、その数はまだ限られています。

いじめの実態調査
を早期発見・対応に
取り組んでいく

答
山口議員 小・中学校におけるいじめ防止対策への現状と取組状況について伺いたい。
教育長 今年度より毎月いじめの実態調査を行い、結果を市教育委員会へ報告をもらうようにしています。報告件数ですが4月から10月までをまとめると38件となっており、この間、月をまたいで継続対応中であるとの報告は1件です。
いじめ防止策としては、この調査を基に早期発見・早期対応に努め、道徳の授業を始め、学校の教育活動全般を通していじめ撲滅の取り組みをしています。また、一昨年度より市内14小・中学校全てでいじめ防止基本方針を策定し、いじめ問題に組織的に対応しています。
いじめは、決して許されないという観点から、各学校で教育相談の充実を図るよう市の教育施策にも明記し、東上総教育事務所のカールカウンセラーを積極的に活用できるよう市教育委員会がつなぎ役となつて進めており、現在までに国吉中、大原中、岬中、東海小、太東小が申請を出し活用しています。
国のいじめ防止対策推進法に基づいて、いじめはどこでも起こるとい認識を全ての職員が共有し、早期発見・対応に取り組んでいます。

自殺対策
山口朋子議員

自殺対策
山口朋子議員

市長の政治姿勢
荒井 正議員

答
市民の願う施策、特に福祉、子育て支援の充実に可能な限り取り組む

荒井議員 公約の一つ「暮らしやすいすみ市づくり」について、達成度をどのように評価しているか。また、予算の抑制による福祉の負担増、サービス切下げで暮らしにくくなったという市民の声をどう受け止めているか伺いたい。
市長 市は合併10年を迎え、働く人の減少により税収が伸び悩み、合併10年を経過し地方交付税の減少、進む高齢化の中で福祉・介護費の増加、各種施設の老朽化、学校の改修、統合小学校の新設、保育所の老朽化による整備などが急務であり、このほか、この度、先送りになった広域ごみ処理施設整備のための市としての基金積立ての必要性など、歳入の伸びを上回る事業が待っているのが市の実情です。
合併10年を振り返ると、思い切った予算配分によって県内でも福祉、子育て水準は上位を占めるに至りま

した。しかし、今後10年後の財政事情を考えると、いざ実施不可能となることは必至です。

このようなことから、国の財政支援のあるうちに各種施策の見直し、廃止、事業の縮小、補助金の削減を行いました。その考えの根底には財政力指数が県内市の中で下から3番目の0.47とすれば、これからは身の丈にあった行政運営こそが将来に向けて安定的な市政を保てる判断したからです。

市の福祉、子育ての水準は、まだ近隣市町と比較すれば評価される水準にあります。しかし、今のままで満足することなく市民福祉の向上や子育て支援の充実を目指して市政を運営していきます。

市民の皆様には、各種事業の見直しなどによって不安や不満を感じたことと思いますが、今後、さらに人口減少による経済の縮小によって税収の減、地方交付税の減などが見込まれるなか、平成28年度も行財政改革を進めていくことにもご理解を頂きたいと思えます。市民の願う施策、特に福祉、子育て支援の充実には、財源が許す範囲のなかで可能な限り全力で取り組んでいきます。



地域振興策
久我 司議員

答
受入環境の充実に
向けて事業を推進し
ていきたい

久我議員 インバウンド観光の重要性が高まると思うが、環境整備計画等を作成する考えはあるか伺いたい。

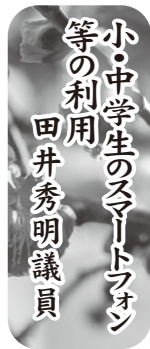
商工観光課長 環境整備計画の策定については、平成23年度及び平成24年度に国から選定を受けた受入環境整備サポーター派遣事業により外国人留学生による課題の洗い出しを行いました。その課題改善については、いすみ市地域振興対策プロジェクト並びにいすみまち・ひと・しごと創生総合戦略の中にインバウンドの推進として位置づけしていますので、これらの計画に沿って推進してまいります。

現在の受入環境整備の施策として、英語・中国語・韓国語の多言語パンフレットの作成及び観光協会ホームページに英語表記による観光情報掲載を地域おこし協力隊により進めています。さらに、次年度にはWi-Fiを市内各所に設置し、

外国人向け旅行ガイドブックへの観光情報掲載についても検討したいと考えています。

また、広域連携による今後の取り組みとしてインバウンド勉強会の開催、今年度、県が実施した成田空港から外房エリアへの直行バスの運行に対し継続実施を要望していきます。

国、県、近隣自治体並びに関係団体と協力し、海外に向けた情報の発信並びに受入環境の充実に向けて事業を推進していきたいと考えています。



小・中学生のスマートフォン等の利用
田井秀明議員

答
教職員の指導力の
向上、危機管理意識
の高揚を図っている

田井議員 SNSを用いたいじめなどのトラブルが発生していると思われるが、その状況の認識と対策についてどのように取組んでいるか伺いたい。

学校教育課長 SNSによるトラブルについて、「あなたは、インターネット（パソコン、スマートフォン、携帯）でトラブルにあった

り、嫌な思いをしたりしたことがありますか」や「あなたは、あなた以外の人がインターネットでトラブルにあつたり、嫌な思いをしたりしたことを知っていますか」ということで学校が実態を調査し、その結果を市教育委員会に報告してもらっています。

基本的には携帯電話の所持、利用については学校教育に支障のない範囲で保護者の責任のもと行ってほしいと考え、注意を喚起しています。

実際に学校への保護者の訴えとして、防犯上どうしても持たせてほしいと考える方と、トラブルへの不安から学校で全面禁止にしてほしいという方と両方いるようです。

過日、大原小学校の実践が千葉日報で紹介されましたが、3年生以上を対象に「親子で学ぼう、スマートフォン、インターネットの使い方、関わり方」というテーマで情報モラル教室が行われました。

各校で児童・生徒の実態に合わせた指導が行えるよう教職員が研修会に参加するなどして指導力の向上、危機管理意識の高揚を図っています。

市政を知るために 議会を傍聴しませんか	
第1回定例議会日程(予定)	
2月23日(火)10時	開会
25日(木)10時	議案の上程
3月1日(火)10時	一般質問
3日(木)9時	委員会
4日(金)9時	委員会
11日(金)10時	委員長報告 議案審議 閉会

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会は誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。

傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受け付けをお願いします。

なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

.....
編集 議会だより編集委員会
TEL 0470-621406
ホームページアドレス
http://www.city.isumi.lg.jp/
メールアドレス
gikai@city.isumi.lg.jp

